



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 伯東株式会社

コード番号 7433 URL <http://www.hakuto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 龍三郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 海老原 憲 TEL 03-3225-3412

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	106,541	15.1	2,908	87.7	3,053	94.8	2,868	192.4
29年3月期第3四半期	92,589	3.9	1,549	△38.6	1,567	△38.0	980	△45.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,521百万円 (254.7%) 29年3月期第3四半期 1,274百万円 (△29.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	135.92	—
29年3月期第3四半期	44.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	86,453	54,956	63.6	2,634.62
29年3月期	78,261	52,748	67.4	2,413.21

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 54,956百万円 29年3月期 52,748百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	5.0	3,200	54.6	3,300	65.9	2,400	26.1	113.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	24,137,213株	29年3月期	24,137,213株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	3,277,805株	29年3月期	2,279,151株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	21,103,548株	29年3月期3Q	21,817,367株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費や設備投資が増加するなど景気は着実に回復しており、アジア地域においては、中国ではGDP成長率が減速傾向にあるものの堅調な消費と各種政策の効果により持ち直しの動きが続いており、我が国でも企業収益や雇用情勢の改善を背景に設備投資や雇用者所得が増加するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、車載分野・スマートフォン分野において旺盛な半導体需要が継続しており、IoT (Internet of Things) 向け製品への進展も期待されております。その一方で、データセンターやスマートフォンの大容量、高機能化に対する急激な需要増加などにより、品不足・納期長期化などが懸念されております。

工業薬品関連では、石油市場は縮小傾向であるものの、アジア地域でのエチレン系誘導品などの石油化学製品需要が好調を維持しております。紙・パルプ分野では、通信販売向け板紙やティッシュペーパー等の衛生用紙の需要が堅調に推移している一方、依然として原材料費の変動リスク等が懸念される状況となっております。

このような環境下において、連結売上高は1,065億41百万円（前年同期比15.1%増）となりました。損益面につきましては、当第3四半期連結累計期間は、全般的に為替水準が安定し、外貨建て取引の利益率も堅調に推移したため、連結売上総利益は139億92百万円（同12.6%増）となり、連結販売費及び一般管理費として110億84百万円（同1.9%増）を計上した結果、連結営業利益は29億8百万円（同87.7%増）、連結経常利益は30億53百万円（同94.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億68百万円（同192.4%増）となりました。

報告セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。

[電子部品事業]

電子部品分野では、自動車関連はADAS（先進運転システム）やパワートレインなどエレクトロニクス化の進展、産業機器関連は海外設備投資の強い需要に支えられ引き続き好調を維持しました。情報通信機器ではノートPC、タブレット、民生機器・白物家電関連ではエアコン、冷蔵庫を軸とした生産も好調なことから当社製品の販売も堅調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は831億94百万円（前年同期比18.1%増）、セグメント利益は12億62百万円（同575.3%増）となりました。

[電子・電気機器事業]

電子・電気機器分野では、台湾を中心とした次世代スマートフォン製造向けプリント基板露光装置や中国地域でのレンズ製造向け蒸着装置の需要が好調に推移し、販売が伸長しました。一方で、国内市場では半導体関連製造装置の設備投資延伸などにより販売は低調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は156億81百万円（前年同期比7.0%増）となり、セグメント利益は8億40百万円（同16.8%増）となりました。

[工業薬品事業]

工業薬品分野では、依然として原油価格に不透明要素があるものの、石油化学分野での需要を反映し、重合禁止剤、酸性ガス吸着用アミン等の販売が堅調に推移しました。また、紙・パルプ分野の市場環境は厳しいものの、板紙・家庭紙需要の後押しにより染料やクレーピング剤販売も堅調に推移しました。化粧品分野では、化粧品基剤及びOEMの販売が好調を維持しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は76億46百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益は7億6百万円（同11.2%増）となりました。

[その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第3四半期連結累計期間の売上高は5億15百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益は23百万円（同6.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①連結財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して81億92百万円増加し、864億53百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が3億8百万円減少しましたが、商品及び製品が35億73百万円、受取手形及び売掛金が24億89百万円増加したためであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して22億8百万円増加し、549億56百万円となりました。これは主に、利益剰余金が20億12百万円増加したためであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは13億35百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローは4億76百万円の収入、財務活動によるキャッシュ・フローは10億87百万円の収入となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して3億50百万円増加し、当第3四半期末は80億98百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益38億96百万円等の収入要因がありましたが、たな卸資産の増加34億86百万円、売上債権の増加25億71百万円等の支出により、営業活動によるキャッシュ・フローは13億35百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には税金等調整前四半期純利益等により15億11百万円の収入となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出4億10百万円等の支出要因がありましたが、投資有価証券の売却による収入9億76百万円等の収入により、投資活動によるキャッシュ・フローは4億76百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には投資有価証券の取得による支出等により、11億22百万円の支出となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式の増加額14億57百万円等の支出要因がありましたが、短期借入による収入（純）33億59百万円、長期借入による収入（純）32百万円等により、財務活動によるキャッシュ・フローは10億87百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には、長期借入金の返済等により、16億30百万円の支出となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年4月28日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,748	8,213
受取手形及び売掛金	28,297	30,787
電子記録債権	4,385	4,711
商品及び製品	17,263	20,837
仕掛品	63	39
原材料及び貯蔵品	495	584
繰延税金資産	897	589
その他	1,940	1,761
貸倒引当金	△11	△17
流動資産合計	61,081	67,505
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	991	968
機械及び装置（純額）	2,173	2,255
土地	3,080	3,080
その他（純額）	518	489
有形固定資産合計	6,764	6,793
無形固定資産	819	555
投資その他の資産		
投資有価証券	9,184	11,152
繰延税金資産	52	60
その他	427	421
貸倒引当金	△68	△35
投資その他の資産合計	9,595	11,598
固定資産合計	17,179	18,947
資産合計	78,261	86,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,291	16,019
電子記録債務	2,266	2,173
短期借入金	2,243	5,563
リース債務	39	21
未払法人税等	212	480
賞与引当金	831	773
製品保証引当金	8	7
その他	1,913	1,880
流動負債合計	21,805	26,919
固定負債		
長期借入金	1,404	1,421
リース債務	6	27
繰延税金負債	1,953	2,712
役員退職慰労引当金	9	11
退職給付に係る負債	317	388
その他	14	14
固定負債合計	3,707	4,577
負債合計	25,513	31,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,289	7,289
利益剰余金	36,782	38,795
自己株式	△4,040	△5,498
株主資本合計	48,131	48,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,203	5,585
繰延ヘッジ損益	△2	15
為替換算調整勘定	824	1,010
退職給付に係る調整累計額	△408	△341
その他の包括利益累計額合計	4,616	6,270
純資産合計	52,748	54,956
負債純資産合計	78,261	86,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	92,589	106,541
売上原価	80,159	92,549
売上総利益	12,430	13,992
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,987	3,997
賞与引当金繰入額	574	716
退職給付費用	376	362
その他	5,941	6,007
販売費及び一般管理費合計	10,880	11,084
営業利益	1,549	2,908
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	216	234
持分法による投資利益	25	45
その他	67	69
営業外収益合計	316	356
営業外費用		
支払利息	32	24
為替差損	193	131
クレーム処理費	43	14
その他	29	40
営業外費用合計	299	211
経常利益	1,567	3,053
特別利益		
事業譲渡益	—	29
子会社清算益	—	21
固定資産売却益	2	9
投資有価証券売却益	4	782
その他	4	4
特別利益合計	10	846
特別損失		
固定資産除売却損	14	3
その他	5	0
特別損失合計	19	3
税金等調整前四半期純利益	1,558	3,896
法人税等	577	1,028
四半期純利益	980	2,868
親会社株主に帰属する四半期純利益	980	2,868

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	980	2,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	1,382
繰延ヘッジ損益	26	18
為替換算調整勘定	170	186
退職給付に係る調整額	61	66
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△0
その他の包括利益合計	293	1,653
四半期包括利益	1,274	4,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,274	4,521

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,558	3,896
減価償却費	650	681
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△317	△60
受取利息及び受取配当金	△224	△241
支払利息	32	24
持分法による投資損益 (△は益)	△25	△45
事業譲渡損益 (△は益)	—	△29
子会社清算損益 (△は益)	—	△21
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4	△782
固定資産除売却損益 (△は益)	12	△5
未払消費税等の増減額 (△は減少)	21	22
売上債権の増減額 (△は増加)	109	△2,571
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,385	△3,486
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,349	1,428
その他	411	△78
小計	2,188	△1,268
利息及び配当金の受取額	237	254
利息の支払額	△33	△24
法人税等の支払額	△881	△296
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,511	△1,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△114
有形固定資産の取得による支出	△202	△410
有形固定資産の売却による収入	2	60
無形固定資産の取得による支出	△91	△65
投資有価証券の取得による支出	△370	△49
投資有価証券の売却による収入	20	976
子会社株式の取得による支出	△336	—
事業譲受による支出	△135	—
事業譲渡による収入	—	37
その他	△8	41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,122	476
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	21,153	38,300
短期借入金の返済による支出	△20,931	△34,940
リース債務の返済による支出	△27	△13
長期借入れによる収入	—	900
長期借入金の返済による支出	△1,036	△867
自己株式の増減額 (△は増加)	56	△1,457
配当金の支払額	△845	△833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,630	1,087
現金及び現金同等物に係る換算差額	100	122
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,140	350
現金及び現金同等物の期首残高	8,366	7,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,225	8,098

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年4月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,036,300株の取得を行いました。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,457百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が5,498百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、順徳晨天電器有限公司は清算終了したことにより、連結の範囲から除外しております。また、第2四半期連結会計期間において、株式会社ルーフスは保有株式の譲渡により、持分法の適用範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	70,467	14,652	7,456	516	93,093
セグメント利益	186	719	634	22	1,563

当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	83,194	15,681	7,646	515	107,038
セグメント利益	1,262	840	706	23	2,832

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	93,093	107,038
セグメント間取引消去	△503	△496
四半期連結財務諸表の売上高	92,589	106,541

(単位：百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,563	2,832
のれんの償却額	△12	△8
その他の調整額	△1	84
四半期連結財務諸表の営業利益	1,549	2,908